

# らぼーる図書室だより

## ★おすすめの本(8月1日現在)

刊年	内容	タイトル・著者名	出版社	分類
2014	★	虚ろな十字架／東野 圭吾	光文社	913.6
2014	★	獺の檻／道尾 秀介	新潮社	913.6
2014	★	グレイ／堂場 瞬一	集英社	913.6
2014	★	라이어／大沢 在昌	新潮社	913.6
2014	★	女のいない男たち／村上 春樹	文芸春秋	913.6
2014	★	ひとつと／森 浩美	角川書店	913.6
2014		憂いなき街 道警シリーズ 7／佐々木 譲	角川春樹事務所	913.6
2014		満月の道 流転の海 第7部／宮本 輝	新潮社	913.6
2014		暗い越流／若竹 七海	光文社	913.6
2014		峠道 一鷹の見た風景ー／上田 秀人	徳間書店	913.6
2014		輝天炎上／海堂 尊	角川書店	913.6
2014		特等添乗員αの難事件 5／松岡 圭祐	角川書店	913.6
2014		決意とリボン／林 真理子	文芸春秋	914.6
2011		アンのゆりかご 村岡花子の生涯／村岡 恵理	新潮社	910.2

\* が付いている話題の本の内容については、下記に記載しています。

### 913 虚ろな十字架／東野 圭吾

動かない事実がある。彼女は、もう戻らない。別れた妻が殺された。もし、あの時、離婚していなければ、私はまた遺族になるところだった。東野圭吾にしか書けない圧倒的な密度と、深い思索に裏付けされた予想もつかない展開。私たちはまた、答えの出ない問いに立ち尽くす。

### 913 獺の檻／道尾 秀介

真実は、悪夢の中にある。あの女が、私の目の前で死んだ。かつて父親が犯した殺人に関わり、行方不明だったが、今になってなぜ…。真相を求めて信州の寒村を訪ねた私を次々に襲う居様な出来事。果たして、誰が誰を殺したのか？

### 913 グレイ／堂場 瞬一

正義も悪も踏み台にしてやる。俺が生き残るために。希望に満ちた青年を待ち受ける恐ろしい罠。潰すか、潰されるか。孤独な戦いが始まる。俺は多分、川を渡ったのだ。二度と「こちら側」へ戻れない川を。警察小説の旗手が挑むピカレスク・ロマン。

### 913 라이어／大沢 在昌

殺人の代償。それは、誰も愛さないことだった…。優しい夫と可愛い息子。幸せな生活を送る妻の本当の顔は、対象人物の「処理」を専門とする政府組織の工作員。彼女にとって、家庭とは偽りだった。夫が謎の死を遂げるまでは…。

### 913 女のいない男たち／村上 春樹

9年ぶりの短編小説世界。その物語は、より深く、より鋭く、予測を超える。絡み合い、響き合う6編の物語。

### 913 ひとつと／森 浩美

幼い息子を虐待して殺した母親を逮捕。交通事故で幼い息子を失い、自分を責め続ける妻。8組の家族の人生の転換期を、鮮やかな手法で描いた感動の連作集。それは、本当に他人事ですか？